

第35回秋の大住宅デー
東京土建65周年土建まつり

11月11日(日)

場所:井の頭公園西園
開始:午前9時45分

けんせつ 清瀬久留米

発行所
東京土建一般労働組合
清瀬久留米支部機関紙
〒203-0054 東久留米市中央町5-10-17
TEL 042-473-8751
FAX 042-473-8753
URL <http://www.tokyodoken.info/>
発行者 鈴木 勝雄
編集者 角 毅 征

目標に向けやり抜く決意



全分会目標達成を目指そう

建設業界に限らず、庶民の生活を苦しめる方向にし、映像を上映し始まった秋の活動がいけない今の政治、社会の情勢に対し、東京土建がいかに関心をもち、活動者会議、清瀬駅前のは各分会から約70人です。

た。

石垣委員長の、情勢報告と「本部作成のDVD映像が素晴らしい」ということはありません」という開会の挨拶のあと、本部松森陽一書記次長の「多数派の形成で、建設産業の厳しい情勢を切り開く、大きな戦いの展開を！」と題した講演では、数を集めなければ力にならないこと、最近の建設業を取り巻く動き（公契約条例、社会保険未加入問題）の説明がありました。

そして、春の成果の再確認と秋の拡大の方針、春の建設職人だけの問題ではないアスベスト訴訟駅頭宣言

建設職人だけの問題ではないアスベスト訴訟駅頭宣言

残暑厳しい8月29日午後6時から清瀬駅北口にて、アスベスト署名行動を行いました。

現在も建設職人のアスベスト被害者がどんどん亡くなっており、また発症者も増えている現状を切々と訴えました。「国と加害者である建材メーカーの責任追及をしているので、ぜひ皆さんの一筆を」とご協力をお願いしました。一時間の宣伝行動で署名15筆、アスベスト被害者の救援を求めるチラシとティッシュ500セットを配布しながら訴えました。

拡大で躍進した分会の経験報告を行いました。最後に「頑張ろう！」で締め上げて解散しました。確かに、数は力。だけど、(組織に)集めるだけの魅力、求心力が本当にあるの？最初に見せられた映像も、通り一遍で土建組合を褒めすぎにも感じました。

「身体を張っている職人の現実にはホントに厳しいよ」というのが、帰り道での仲間との雑談でありました。まだまだ東京土建のやるべき事は山積みです。その中の一つとして、やはり拡大月間頑張らねばと仲間と決意しました。「明るく、楽しく、元気よく！」

北浅分会 佐久間 博

清里分会 鈴木 勝雄

豊島園でBBQ!! ～秋の拡大中間決起集会～

暑さ厳しい夏が終わり過ごしやすい季節になってきました。

支部では、秋の拡大成功に向けて後継者世代を大勢呼ぼうと『豊島園』で中間決起集会を開催します。

1日遊び放題&BBQ食べ放題・飲み放題です。家族での参加はもちろん、友達同士や役員さんなどなど、分会・群の中で誘い合って参加してください。

とき: 9月30日(日) 10時~17時

ところ: 豊島園

※昼食は12時~14時

(BBQエリアにて食べ放題・飲み放題)

参加費: 大人1000円

子ども 500円

(3歳~小学生まで)

当日集金します。



松竹分会 秋の拡大出陣式



「網戸がないんだよな」大きく開けた窓の前で苦笑いしながら蚊取り線香をたき、役員が分会センターに集まりました。秋の拡大月間、分会再編、いってきます!! 「拡大行動は初日から訪問行動、月間最後にまた皆と、悩ましい話でセンターに集まろう!!」番気がかりなの秋の拡大月間が始まりました。事務局 木田 恵

清瀬久留米支部教宣部主催

イベント告知

スナップ写真コンクール

9月末締め切り迫る

ジャンルは問いません

詳細は毎月の群会議で配布されるチラシにて

核に平和利用はない



清瀬市代表团 原爆ドーム前にて

2012年

原水爆禁止世界大会 広島

広島で8月4日から6日 禁止2012年世界大会にの3日間開催された原水爆

支部から2名が清瀬市代表として参加しました。8月4日の開会総会には6,800人が参加しました。開会宣言の後、主催者報告や来賓あいさつに続き、被曝体験者で日本被曝協の坪井さんが、当時の悲惨な様子を生々しく語りられました。

2日目は「核兵器全面禁止のために世界の運動と連帯して」という分科会に参加し、海外代表团と経験交流を行いました。中でも「核の平和利用はない」という発言に共感しました。人間が未だ制御できていない核は原発とは言え大きな被害を与えます。核兵器全面禁止と共に、原発廃止に声を上げましょう。

8月6日は広島市主催の平和祈念式典に参加し、原爆被害者へ黙とうを捧げました。閉会総会には7,200

増税反対の声を行動を

消費税の増税法案が、6月26日に衆議院を通過しました。これをうけて8月8日18時から東久留米駅頭にて消費税増税反対行動を行いました。

これまでも増税して、私たちの生活は良くなったかどうか、失業・賃金と雇用の悪化、被災地の復興も進まないまま「税と社会保障の一体改革」と三党談合により増税を押し進め野田首相は「増税引き上げ分はすべて

社会保障に」と会見で約束をしました。しかし、マニフェストを守る事が出来ないのに、そんな約束を守るわけはありません。たとえ法案が通過しようと廃案にして審議をやり直すべき、そして国民の審判を問うべきだと強く思いながらの駅頭宣伝でした。とても残念ですが、8月9日には参議院で増税法案が可決しました。

清瀬市代表 山岸 妙子

人が参加し、「広島からのよびかけ」を採択しました。大会参加の多くは核廃絶に真剣に取り組んでお

り、その姿勢に共感し核廃絶運動に対する認識を新たにしました。三葉分会 井上 晃

「憲法学習会」に参加

東京土建本部で8月4、5日の2回にわたり憲法学習会が開かれました。

毎月9日に支部で行っている憲法駅頭宣伝に参加している私にとって、とても有意義な学習会でした。かつて世界大戦で、多く

の犠牲を払った深い反省の上に、国の最高法規である日本国憲法は作られ、それまでの軍国主義から世界中に愛される真の民主主義の国づくりを目指していま

この憲法は『主権が国民にあり、その姿勢に共感し核廃絶運動に對する認識を新たにしました。』

8・31 シニア友の会納涼会 皆さん若い！ 意気軒昂！

集まったシニア友の会メンバーは40人ほど。しばらく姿が見えなかった伊藤君のサプライズ出席もあり、地区ごとに3つのテーブルに別れての会食でしたが、そこは長い付き合いの仲間。飲むほどに、酔うほどに、口は滑らかにになり、身体が動きまわりました。

仕切って下さった木田恵子という事は、こんなに盛大でなくてイイから、年一回と言わず、毎月あつてもいいのではないかとみんな口々に話していました。カラオケがないのが、ちょっと残念だという意見も。こういう会こそが「会館」がある意味だと感じます。

「準備、後片付けなど一切、シニアのメンバーでやるから、もう少し頻繁にひらけたら」と次回に向けて意気込んでいます。お世話くださった事務局の皆さんありがとう。来年はシニア友の会10周年。北浅分会 小原 三郎



湧水

市民農園の一区画を借りて野菜づくりを楽しんでいる。もちろん素人の域を出ないが、これまでに収穫した野菜はジャガイモ、ナス、トマト、大根、キャベツなど十数種にのぼる。

野菜づくりと組合運動

農作物を育てて、あらためて思い知らされたことがある。それは、「農作物は嘘をつかない」ことである。手をかければかけるだけ立派においしく育つ。逆に適当に手を抜くと必ずふてくされる。さらにほったらかしておくと、確実にダメになる。

その点においても、東京土建の運動と相通ずるものがあるようだ。三葉分会 坂内 三夫

川柳

妻の名を呼ぶ 認知症 企業戦士は今病床 過去の働き

入院時の病室にて 北浅分会 小野 定康